

2024年度 日本獣医がん学会 第3回 通常理事会（メール会議）

日時：2024（令和6）年 12月 30日

場所：メール会議

出席者：（メール送信先）

理事：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信 行紀、高橋 雅、浅野和之、金井詠一、
児玉和仁、小林哲也、井上 明、中川貴之、細谷謙次、廉澤 剛、古川敬之

監事 三宅龍二・水上浩一

議事録署名人：代表理事 石田卓夫 、監事：三宅龍二、水上浩一

議事録作成：杉山大樹

議決権のある総理事数 15名

メール送信日：2024年 12月 23日

返信期限：2024年 12月 30日正午

ご意見・ご質問返信：全員へのメール返信にて

投票返信先：投票フォーム

なお、期日までにやむを得ずに返信が頂けなかった場合は、承認いただいたものと判断した。

決議を明確にするため、2024年 12月 30日の決議事項について本議事録を作成し、議事録に押印する。

審議・決議事項：

第1号議案：委員会報告及び次年度事業計画（資料1）

賛成多数により承認された。

第2号議案：2025年度予算案（資料2）

※2024年度会計決算額は見込であり、正式な決算報告は2025年6-7月に定時社員総会にてご審議いただきます。

賛成多数により承認された。

第3号議案：2025年度事業計画（資料3）

賛成多数により承認された。

第 1 号議案：委員会報告及び次年度事業計画

学会雑誌編集委員会 藤田道郎委員長

獣医腫瘍科認定医認定委員会 皆上大吾委員長

企画委員会 橋本直幸委員長（担当理事：古川敬之先生）

内科療法委員会 高橋 雅委員長

外科療法委員会 浅野和之委員長

放射線療法委員会 中山智宏委員長（担当理事：金井詠一先生）

病理委員会 賀川由美子委員長（担当理事：児玉和仁先生）：報告なし

JONCOL 編集委員会 井上明委員長

WVCC・国際情報委員会 小林哲也委員長

臨床研究委員会 中川貴之委員長

渉外広報担当 武信行紀担当理事

平素より大変お世話になっております。

「1) 2024 年度事業（活動）報告」および「2) 2025 年度事業計画」につきまして、以下にご報告申し上げます。

1) 2024 年度事業（活動）報告

[報告 1]

●会議（メール会議）：2024 年 7 月 22 日（土）～29 日（月）

【審議事案】

1 日本獣医がん学会雑誌アワードの実施に向けて

- 1) 2024 年度第 1 回編集会議審議事案 (1) ～ (7) のとおり、日本獣医がん学会雑誌アワードの実施に向けての詳細が審議された。
- 2) 日本獣医がん学会雑誌 査読者名簿へ査読者 1 名を増員することが審議された。

【決議事項】

- 1) 上記内容の通り承認された。
- 2) 上記内容の通り承認された。

[報告 2]

以下、主たる業務を 2024 年度末までに実施する。

- (1) 本会雑誌への投稿論文のメイン査読、およびメイン査読時の 1～2 名の査読者を選出する。
 - (2) 年 2 回の本会雑誌編集委員会を実施する。 ※メール会議を含む
 - (3) 本会雑誌の企画・構成等を行う。
 - (4) 必要に応じ、本会雑誌に伴う問題は審議する。
- ※補足：2024 年度中に、本会雑誌編集委員会 第 2 回を実施予定。

[報告 3]

- (1) 本会雑誌アワードに向けての詳細が承認された。

[報告 4]

本会雑誌を 2024 年中に、3 冊発行することとした。

2) 2025 年度事業計画

- (1) 2025 年度（2025 年 5 月 1 日～2026 年 4 月 30 日）に、本会雑誌を 4 冊発行する予定で推進する。
- (2) 日本獣医がん学会雑誌アワード実施に向け、具体的実務を推進する。

以上、2024 年度事業（活動）報告、2025 年度の事業計画に関しましてご報告申し上げます。

2024年度 獣医腫瘍科認定医認定委員会 事業報告

2024年7月2日（火）

- 認定委員会開催（zoom）

2024年7月6日（土）

- 認定医2種講習会開催（ホテルニューオータニ東京）
- 2023年度獣医腫瘍科認定医認定証授与式開催
- （II種受験者数322名、合格者20名（合格率6.2%）、I種受験者数24名、合格者4名（合格率17%））

2024年10月6日（日）

- 獣医腫瘍科認定医認定試験開催（ベルサール新宿グランド）

2025年1月20日（月）

- 認定委員会開催（zoom）

2025年1月25-26日

- 認定医2種講習会開催（ホテルニューオータニ大阪）

2025年2月

- 2024年度獣医腫瘍科認定医認定試験合格発表

2025年度 獣医腫瘍科認定医認定委員会 事業計画

2025年7月上旬

- 認定委員会定例開催（zoom）

2025年7月5-6日

- 認定医2種講習会開催（ホテルニューオータニ東京）
- 2024年度獣医腫瘍科認定医認定証授与式開催

2025年10月5日（日）

- 獣医腫瘍科認定医認定試験開催（ベルサール新宿グランド）

2026年1月下旬

- 認定委員会定例開催（zoom開催）

2026年1月24-25日

- 認定医2種講習会開催（ホテルニューオータニ大阪）

2026年2月

- 2025年度獣医腫瘍科認定医認定試験合格発表

【企画委員会 事業報告および事業計画】

1) 2024 年度事業（活動）報告

①学会開催

- ・2024年3月21-24日 WVCC Tokyo（第29回日本獣医がん学会合同開催）
ホテルニューオータニ東京
- ・2024年7月6-7日 第30回日本獣医がん学会「犬猫の小腸腫瘍の確実な診断に挑む」開催
ホテルニューオータニ東京

②会議

<企画委員会定例会議>

- ・2024年2月19日（zoom）
：第30回JVCSについて（メインテーマの選定、メイン以外の企画について）
- ・2024年6月28日（zoom）
：第30回JVCSについて（当日タイムスケジュール・役割分担）
第31回JVCSについて（メインテーマの選定、メイン以外の企画について）

<企画打ち合わせ>

- ・2024年2月11日（zoom）：第30回JVCS「症例検討会」（企画概要）
- ・2024年3月26日（zoom）：第30回JVCS「外科ドライラボ」（受付形式）
- ・2024年5月3日（zoom）：第30回JVCS「メインシンポジウム」（内容検討）
- ・2024年5月13日（zoom）：第30回JVCS「外科ドライラボ」（内容検討）
- ・2024年5月25日（zoom）：第30回JVCS「トピック：臨床推論」（講師選定）
- ・2024年6月8日（zoom）：第30回JVCS「トピック：臨床推論」（内容検討）
- ・2024年6月20日（zoom）：第30回JVCS「症例検討会」（内容・進行検討）
- ・2024年9月30日（zoom）：第31回JVCS「外科ドライラボ」（振り返り、講師選定）
- ・2024年10月8日（zoom）：第31回JVCS「顕微鏡実習」（企画概要・講師選定）
- ・2024年10月28日（zoom）：第31回JVCS「メインシンポジウム～猫の肥満細胞腫～」
- ・2024年11月11日（zoom）：第31回JVCS「トピック：臨床推論」（講師選定）
- ・2024年12月10日（zoom）：第31回JVCS「トピック：臨床推論」（内容検討）

2) 2025 年度の事業計画

①学会開催

- ・2025年1月25-26日 第31回日本獣医がん学会（大阪）
- ・2025年7月 第32回日本獣医がん学会開催予定（東京）

②会議

- ・2024年1月 企画委員会定例会議（zoom）
第31回日本獣医がん学会について（当日の役割分担等）
第32回日本獣医がん学会について（メインテーマの選定・演者案、企画内容について）
- ・6月と12月を目処に企画委員会定例会議（zoom）
- ・各企画の打ち合わせを適宜開催（メール・zoom）

2024 年度 内科療法委員会 事業報告および事業計画

2024 年度は内科療法委員とメール会議等で協議し、獣医がん学会において、以下の内容の講演、シンポジウムを企画した。

第 30 回大会

・シンポジウム 企画

Controversies in medical oncology Vol.2 皮膚型リンパ腫

(村山 信雄、賀川 由美子、原田 慶、小林 哲也)

・教育講演 企画

血液腫瘍におけるフローサイトメトリー解析の有用性 後藤 裕子、富安 博隆 (東京大学)

第 31 回大会

・教育講演 企画

犬と猫で比較して理解する 形質細胞由来腫瘍のすべて 大参亜紀 (東京大学)

2024 年度 外科療法委員会 事業報告

- 1) 第 30 回学術集会（東京）にて外科系講演の企画を立案して講師選定など取りまとめを行った。
卒後教育講演
・ 腫瘍の外科 講師：山崎寛文（日本動物高度医療センター）
- 2) 第 31 回学術集会（大阪）にて外科シンポジウムの企画を立案して講師選定など取りまとめを行った。
外科系シンポジウム
・ 脊髄腫瘍および末梢神経腫瘍に対する外科療法
座長：細谷謙次先生（北大）、古川敬之先生（JARMEC 名古屋）
 1. 画像診断
講師：小山英志先生（共同組合仙台獣医師会 総合どうぶつ病院）
 2. 外科
講師：穴澤哲也先生（JARMEC 名古屋）
 3. 総合討論
- 3) 上記プログラムの企画立案に際してメール会議を随時開催した。

2025 年度 外科療法委員会 事業計画

- 1) 2025 年度に開催される学術集会における外科系プログラムの企画立案・取りまとめ
- 2) その他

放射線療法委員会

中山智宏委員長（担当理事：金井先生）

1) 2024 年度事業報告

第 31 回日本獣医学会における放射線教育訓練において、山口大学 根本有希先生を選出した。
また、同学会の一般口演アワードの審査委員に神戸ピア動物病院 長田雅昭先生を選出した。

2) 2025 年度事業計画

特になし

【JONCOL 編集委員会 事業報告および事業計画】

1) 2024 年度事業（活動）報告

2024 年度：2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日

・会議（対面・Zoom 等）の日時と審議・決議事項

会議（メール）2024 年 7 月 11 日 審議事項

JONCOL No. 37 の企画案の担当者決め

JONCOL オリジナル企画について

会議（メール）2024 年 1 月未 JONCOL No. 38 の企画案の担当者決め

JONCOL 電子版の 2024 年度報告

<2024. 5. 1-2024. 11. 31_Joncol eBook 登録者数> 1,955（今年度） 1,889（前年度）

<2024. 5. 1-2024. 11. 31_サイトアクセス数> 8,694（今年度） 12,729（前年度）

JONCOL 各号の 2024 年度閲覧数

2) 2025 年度の事業計画

2025 年度：2025 年 5 月 1 日～2026 年 4 月 30 日

活動予定

2025 年 7 月 JONCOL No. 38 発刊予定

2025 年 7 月 JONCOL 編集委員メール会議予定

2026 年 1 月 JONCOL No. 39 発刊予定

2026 年 1 月 JONCOL 編集委員メール会議予定

1. WVCC 関連追加報告

- (ア) 東京観光財団からの助成金確定と支払いについて
- (イ) 2024年10月8日に東京観光財団の助成金額が12,210,000円と確定(添付)し、2024年11月5日に本学会口座への着金を確認した。
- (ウ) 内訳: 会場借上費10,000,000円、オンライン経費2,210,000円(資料A)

2. WVCC・国際情報委員会では、5つの国際組織*と協力し合い、The World Oncology Consortium (WOC) およびジャーナルレビューを実施している。いずれもJVCS会員であれば無料で視聴できるコンテンツである。

(ア) The World Oncology Consortium について

- ① 概要: 1年に4回、各国組織から発表者を推薦し合い、ズームにて開催されるウェビナー (<https://www.jvcs.jp/members/woc/>)。
- ② 1年に1回、持ち回りで各国がホストを担当。
- ③ 公式ホームページが完成: <https://worldveterinaryoncology.com/>
- ④ 2024年開催概要
 - 1. 2月22日: Bone Marrow Sampling (2023年度事業)
 - 2. 4月11日: Hepatic Neoplasia (2023年度事業)
 - 3. 9月3日: Impact of Nutrition on Cancer Management
 - 4. 12月4日(日本がホスト): Chemotherapeutic agents used differently in dogs and cats. 東京大学 大参重紀先生がパネリストとして発表。申込者287名、ライブ参加者約80名。JVCSのWOCログイン数は約400件。
- ⑤ 2024年開催概要は未定

(イ) ジャーナルレビューについて

- ⑥ 概要: 各国の組織から1名ずつが担当し、最新の文献を四半期に1回、ウェブコンテンツとして紹介するジャーナルレビュー(口頭発表はなし)。
- ⑦ 現在は、WVCCおよび国際情報委員会メンバーが担当。
- ⑧ 2024年開催概要
 - 1. 2024年第4期: 東京大学 富安先生
 - 2. 2025年第1期: 山口大学 水野先生
 - 3. 2025年第2期: がんセンター 小林
 - 4. 2025年第3期: 山口大学 根本先生
 - 5. 2025年第4期: 未定
- ⑨ JVCSから最新ジャーナルと一緒に紹介してくれるメンバーを公募予定(理事会承認済み)
- ⑩ 現時点では予算確保の必要なし

3. The World Oncology Day について

- (ア) 概要: 当初は4年に1度、各国で数日間開催される大型イベントであったが、開催国の負担が大きいため、各国の年次大会に半日追加し、毎年開催する形に変更。
- (イ) 日本での開催は2028年の予定。
- (ウ) 直近のThe World Oncology Dayは、VCSがホストで2025年9月27日午前。
- (エ) 2025年のテーマは犬と猫の乳腺腫瘍。
- (オ) WVCC・国際情報委員会からも1~2名、情報集取や会議などのために参加を予定。
- (カ) この企画の予算をどうするか? 参加費の全額あるいは一部負担
- (キ) JVCSの補助があった場合、参加メンバーは翌年1月のJVCSで、学会内容を発表・報告してみてもどうか(たとえばVCSアップデートなど)?

* VCS(米国)、ESVONC(欧州)、ABROVET(ブラジル)、AMONCOVET(メキシコ)、JVCS(日本)

第9号様式（第17条関係）

6 公東観ニ誘第940号
令和6年10月8日

一般社団法人日本獣医がん学会
代表理事 石田 卓夫 殿

公益財団法人東京観光財団
理事長 金子 眞吾



国際会議開催助成金額確定書

令和6年10月3日付で提出された当該国際会議に係る「国際会議開催資金助成事業開催結果報告書」を審査した結果、事業が適切に遂行されたと認められるので、下記のとおり助成額を確定します。

概算支払額： _____ 0円

助成金確定額： _____ 12,210,000円
※千円未満切捨

助成金返還額： _____ 0円

助成金の支出形式： 確定払い 概算払い

【臨床研究委員会 事業報告および事業計画】

1) 2024 年度事業報告 (2024 年 5 月 1 日～2024 年 12 月 1 日まで)

[会議]

2024 年 7 月 7 日	2024 年度第 1 回臨床研究委員会 (対面)
2024 年 8 月 27 日	同 第 2 回臨床研究委員会 (Zoom)
2024 年 10 月 1 日	同 第 3 回臨床研究委員会 (Zoom)
2024 年 11 月 13 日	同 第 4 回臨床研究委員会 (Zoom)
2024 年 12 月 23 日	同 第 5 回臨床研究委員会 (Zoom)
2025 年 1 月 26 日	同 第 6 回臨床研究委員会 (対面)
2025 年 2 月 (予定)	同 第 7 回臨床研究委員会 (Zoom)
2025 年 3 月 (予定)	同 第 8 回臨床研究委員会 (Zoom)
2025 年 4 月 (予定)	同 第 9 回臨床研究委員会 (Zoom)
2025 年 5 月 (予定)	同 第 10 回臨床研究委員会 (Zoom)
2025 年 6 月 (予定)	同 第 11 回臨床研究委員会 (Zoom)

[基盤形成プロジェクト]

- ・症例登録システムの作成 (β 版が完成、各種委員会へ共有、問題点の洗い出しへ)
- ・学会委託弁護士とともに倫理・法務関係の整理と契約書の作成
- ・GIVCS での発表

[研究者育成プロジェクト]

- ・学術集会一般口演およびポスター発表に対するアワード表彰制度
(第 31 回日本獣医がん学会にて、第 3 回アワード表彰を実施)
- ・英語での一般口演、ポスター発表の受付を開始
- ・臨床研究委員会による臨床研究手法に関する教育講演
(第 31 回日本獣医がん学会にて、第 3 回教育講演を実施)
- ・第 1 回研究助成として 2 課題 (臨床分野、基礎分野ともに各 1 課題) に助成
2025 年 7 月の第 32 回獣医がん学会にて中間発表を予定
- ・第 2 回研究助成の募集を開始 (2025 年 4 月末までに選考をすすめる)
- ・日本獣医がん学会生命倫理に関する規程

[Japan Comparative Oncology プロジェクト]

- ・2025 年 9 月の日本癌学会学術集会 (金沢) での医獣連携シンポジウムが採択
日本獣医がん学会と日本癌学会のジョイントシンポジウム

[臨床研究を中心とした相談窓口や倫理委員会の設置に関する検討]

- ・臨床研究委員会の活動に対する学会員向けアンケートの実施
- ・臨床研究を中心とした相談窓口を HP 上に FAQ として設置することを検討中
- ・臨床研究・一般演題発表に関する倫理委員会の設置準備

2) 2025 年度の事業計画

2025 年度 : 2025 年 5 月 1 日～2026 年 4 月 30 日

[基盤形成プロジェクト]

- ・国内における獣医がん症例の疫学情報・治療成績を集積できる登録システムを構築し、集約された基盤データを学会員に対する臨床活動支援などとして還元する。さらに公共データベースとして世界にも公開し、日本獣医がん学会が獣医がん研究を牽引することを目指す。
→2024 年度内に β 版の試用と問題修正を終え、2025 年度内にシステムの公開と試行を目指す。システムの構築だけでなく、学会としての活用法についても、理事会や認定委員会をはじめ各委員会と連絡、連携を取りながら検討していく。

[研究者育成プロジェクト]

- ・ 獣医学における獣医がん臨床研究の推進のために、臨床研究発表支援や次世代がん研究者の育成、若手研究者の活発な研究発表につながる表彰、助成を行う。
- アワード表彰については第32回、第33回においても実施を予定する。
- 評価基準については今後も適宜、検討修正を行う。
- 研究助成については第2回研究助成の助成および第3回の研究助成の募集を行う。助成対象課題についての中間発表なども実施する。
- 臨床研究委員会による教育講演を継続する。さらなる活発な学会発表や論文投稿をサポートするための臨床研究手法に関する教育講演を継続する。

[Japan Comparative Oncology プロジェクト]

- ・ 獣医がん臨床研究のさらなる発展のために、比較腫瘍学としての研究の発展や医学工学などとの横断的連携を推進する。
- 2026年日本癌学会でのジョイントシンポジウム採択に向けての準備や交渉、日本獣医がん学会における医学分野の先生による基調講演の立案、獣医学と医学、獣医師、医師、研究者との交流などの企画を行う。

[臨床研究を中心とした相談窓口や倫理委員会の設置に関する検討]

- ・ アンケート調査：学会運営における当委員会の活動をさらに向上させるために、学会員の期待することや改善点を整理する目的でアンケート調査を実施する。
- ・ 相談窓口の設置：研究助成や一般演題発表のアワード表彰など、各事案に対する相談先やよくある質問に対する回答をHP上に掲載することを予定。
- ・ 当学会が主導する研究や一般演題発表に対して、実験動物や臨床例を対象とした研究が実施されている場合に、倫理的・道義的・福祉的に適正に実施されているか審議や支援する委員会の設置を検討。

事業報告

1) オンセプトに関する情報提供

認定医1種取得者に向けて、ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパンの依頼により情報提供のメール配信を複数回実施した。

2) 日本獣医臨床病理学会 年次大会の開催告知

本学会理事 皆上先生より日本獣医臨床病理学会 年次大会の大会長として本学会の会員にも関連のある『腫瘍と臨床病理』メインテーマにした学会開催の告知を実施した。

本学会の参加者は日本獣医臨床病理学会と同額で参加可能

3) JAHA セミナー 後援

日本動物病院協会(JAHA)主催のオンラインセミナー「困難な腫瘍とどう向き合うか? -臨床現場で役立つ最新の知見-」を後援した。

本学会会員の参加費は、JAHA 会員同額で参加可能

4) 第30回日本獣医がん学会 2024年7月6日(土)、7日(日)

学会開催の告知/ 展示企業などに対する渉外活動を実施した。

5) 第31回日本獣医がん学会 2025年1月25日(土)、27日(日)

学会開催の告知/ 展示企業などに対する渉外活動を実施した。

2025年度 事業計画

従来通り、日本獣医がん学会の告知等を実施する。

第2号議案：2025年度予算案（資料2）

※決算見込みで¥12,210,000が追加されている。

※予算案ではマイナスの収支となっているが、会員への還元と考え、年会費などの増額は検討していない。

2025年度予算案				
令和7年5月1日から令和8年4月30日まで				
(単位：円)	2025年度予算案	2024年度決算見込み	2024年度修正予算案	2023年度決算額
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	30,000,000	29,000,000	29,000,000	29,290,209
準会員受取会費	30,000	30,000	30,000	40,000
賛助会員受取会費	500,000	500,000	500,000	700,000
受取会費計	30,530,000	29,530,000	29,530,000	30,030,209
事業収益				
参加費収益	30,000,000	28,000,000	28,000,000	58,082,000
展示・広告収益	3,000,000	3,000,000	3,000,000	13,720,630
認定医手帳販売収益	200,000	200,000	200,000	303,000
要旨販売収益				
懇親会費収益	300,000	300,000	300,000	444,000
受験料収益	5,000,000	5,000,000	5,000,000	6,290,000
登録料・更新料収益	250,000	240,000	240,000	763,000
事業収益計	38,750,000	36,740,000	36,740,000	79,602,630
受取補助金等				
受取地方公共団体助成金		12,210,000		
雑収益				
受取利息		0	0	
雑収益	0	0	0	4,961,323
雑収益計	0	12,210,000	0	4,961,323
経常収益計	69,280,000	78,480,000	66,270,000	114,594,162
(2) 経常費用				
事業費				
臨時雇賃金	300,000	200,000	200,000	0
旅費交通費	2,000,000	1,500,000	1,500,000	4,645,724
通信運搬費	1,200,000	1,000,000	1,000,000	1,049,484
減価償却費				425,333
消耗什器備品費	300,000	300,000	300,000	75,804
消耗品費	300,000	300,000	300,000	17,761,696
印刷製本費	7,000,000	7,000,000	7,000,000	5,197,225
賃借料	28,000,000	24,000,000	24,000,000	39,313,010
諸謝金	8,000,000	7,000,000	7,000,000	15,038,178
租税公課		0	0	11,100
委託費	18,000,000	15,000,000	15,000,000	39,766,950
宣伝広告費				20,373
会議費	300,000			422,907
交際費	300,000			426,589
WOC開催費	500,000	300,000	300,000	0
研究支援	5,000,000	5,000,000	5,000,000	
雑費	200,000	200,000	200,000	2,099,812
事業費計	71,400,000	61,800,000	61,800,000	126,254,185
管理費				
会議費	50,000	50,000	50,000	43,666
交際費	50,000	50,000	50,000	0
旅費交通費	40,000	40,000	40,000	28,870
通信運搬費	550,000	550,000	550,000	317,404
消耗什器備品費	300,000	300,000	300,000	567,750
消耗品費	500,000	500,000	500,000	359,629
印刷製本費	3,000,000	3,000,000	3,000,000	2,420,020
賃借料	600,000	600,000	600,000	573,386
諸謝金	1,500,000	1,500,000	1,500,000	2,056,170
租税公課				428,300
支払寄付金	300,000	300,000	300,000	0
委託費	4,000,000	4,000,000	4,000,000	6,233,040
雑費				539,355
管理費計	10,890,000	10,890,000	10,890,000	13,567,590
経常費用計	82,290,000	72,690,000	72,690,000	139,821,775
評価損益等調整前当期経常増減額	(13,010,000)	5,790,000	(6,420,000)	(25,227,613)
当期経常増減額	(13,010,000)	5,790,000	(6,420,000)	(25,227,613)
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計				0
(2) 経常外費用				
経常外費用計				0
当期経常外増減額				0
税引前当期一般正味財産増減額	(13,010,000)	5,790,000	(6,420,000)	(25,227,613)
当期一般正味財産増減額	(13,010,000)	5,790,000	(6,420,000)	(25,227,613)
一般正味財産期首残高	83,645,463	77,855,463	77,855,463	103,083,076
一般正味財産期末残高	70,635,463	83,645,463	71,435,463	77,855,463
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	70,635,463	83,645,463	71,435,463	77,855,463

第3号議案：次年度事業計画

2025年7月5-6日 第32回日本獣医がん学会（東京ニューオータニ）

2025年10月5日 獣医腫瘍科認定医試験（1種2種合同、新宿ベルサール）

2026年1月24-25日 第33回日本獣医がん学会（大阪ニューオータニ）

補足資料

今後の本会主要日程

- 2025年1月25-26日：第31回日本獣医がん学会・臨時社員総会（大阪ニューオータニ）
- 2025年6月：メール理事会（会計報告、決算など）
- 2025年7月5-6日：第32回日本獣医がん学会・社員総会（東京ニューオータニ）
- 2025年10月5日：認定医試験（新宿ベルサール）
- 2026年1月24-25日：第33回日本獣医がん学会・臨時社員総会（大阪ニューオータニ）
- 2026年7月4-5日：第34回日本獣医がん学会・社員総会（東京ニューオータニ）
- 2026年10月4日：認定医試験（仮：新宿ベルサール）

今後の理事・代議員改選日程

- 2025年4月：理事選挙実施
（公示4月1日、立候補受け付け4月1-7日、投票期間4月15-21日）
- 2025年5月：メール理事会で次期理事名簿決定
（総会選出理事の選任審議含む）
- 2025年5月：社員選挙実施
（被選挙権全会員、定員40名、公示5月1日、立候補受け付け5月1-7日、投票期間5月15-21日）
- 2025年7月学会定時社員総会で現社員で新理事名簿承認、定時社員総会終了をもって社員交代
→当日別室で新理事会開催：会長選出→新会長により早期に新組閣着手

「愛玩動物看護師との集い」に関して

第31回日本獣医がん学会において、愛玩動物看護師とのミーティングの場を設けます。彼らの想いや希望を聞くことが目的です。そのためにはあまり大人数ではない方がいいと考えましたので、参加は理事と代議員に限ることになりました。後日、改めて出欠確認の連絡をいたしますので、有志の皆様のご出席をお願いいたします。（1月26日（日）、8:20から、会場未定）

2024年12月30日

議事録署名人

議長（会長） 石田 卓夫 ㊟

監事 三宅 龍二 ㊟

監事 水上 浩一 ㊟

議事録作成 杉山 大樹